

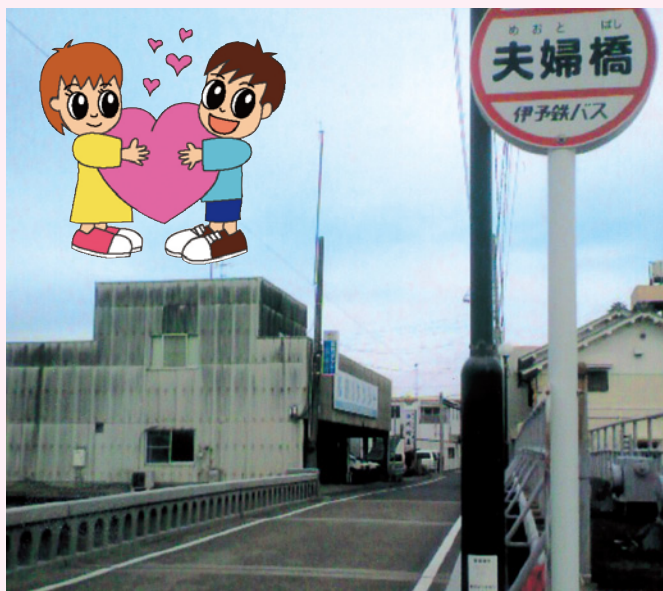
町民の声

「思い通り」に想う

自称松前維新の会員
昨年、3月に町道「筒井徳丸線」の第2工区が完成し供用が開始された。松前町にとって、東西方向の軸となる幹線道路として、町民の安全性や利便性の向上、渋滞緩和などに期待されるだろう。また、昨年末には国道56号線側入口の木がイルミネーションされ、町民や通行車の目を惹きつけてくれた。しかし、イルミネーションされたのは国道56線側入口の木、一本だけで少しさみしく思った。町の予算も関係するのだろうが、全長1.3kmの道沿いをイルミネーションすることによっていろいろ効果があるのではないかと考える。

この道路の愛称名は「思い通り」と決定したそうだが、松山市から松前町に架かる橋に「出会

大橋」があり、浜地区には秋祭りの神輿の鉢合せで有名な「夫婦橋」がある。これらをつなげてみると、出会大橋で『出会い』思い通りで『思い合い』夫婦橋で『結婚する』というような物語的なつながりができる。
12月議会で町長が希望していたが、義農神社（公園）の継承館や記念館の話も含めた、松前町にしかできない町づくりができないかと思い想う日々である。



傍聴席

今回の町議会は白石町政4期目のスタートであり、答弁の中でより具体的な施策・考え方が聞けるのではとの期待を持ち傍聴した。同じ思いの人が多数いるとの思いに反し、少ない傍聴者にいささか失望する。無投票ではあったが、我々が選ん

だ町長である。「後は頼みます」ではなく、町民の責任としてチェックし関心を持たねばなりません。同様に暑い8月に期待を託した議員の活動・仕事ぶりも、傍聴すればより理解が深まります。それなのに…。そんな思いで答弁を聞いていた。

一般質問でも出たが、防災と環境は大変な事業である。どちらも莫大な費用と手間が予測され、政治・行政に負う所が大である。迅速に、着実に進めていただきたい。しかし、防災では自助の大切さ、環境ではゴミの削減が重要であり、それは政治と同じく我々町民の参画が前提となろう。

(伊藤 芳幸)

広報委員会からのお知らせ

去年の議員改選で広報委員のメンバーも新たに7人構成でスタートしました。より多くの方々に読んで頂き、議会活動をわかりやすく報告できるように広報紙を作るよう心がけています。皆さんのご意見をお待ちしていますので、気軽にお声掛けして下さい。



町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。
(500字程度)

【宛先】
松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。
(次回は3月上旬中旬の予定です)